

連絡会の設置目的・進め方

連絡会の設置目的

《経緯》

- TOKYO2020大会期間中、事業者の皆様に対して、荷物が予定どおりに届けられない等の予想される影響を防ぐため、他社との共同配送や複数日分の一括発注等の物流TDMの取組について、事業者にお願いをしてきた。
- 大会後に行った事業者向けのアンケートの結果から、「2024年問題への対応が必要。国全体での取組になると考えられるが、リードタイムの緩和について行政としても対応してほしい」などの声があった。
- 「2020物流TDM実行協議会」の各委員からも、物流TDMの取組について、大会のレガシーとして継承を求める声が多かった。
- また、労働基準法の改正に伴う労働時間の規制、Eコマースの普及や物流DX等に見られる新たな潮流の到来により、物流業界を取り巻く様々な課題が顕在化してきている。

連絡会の設置目的

《連絡会の設置目的》

- TOKYO2020大会時の物流TDMの取組をレガシー化
- 物流を巡る新たな潮流を捉えた取組を思考
- サプライチェーン全体で更なる物流効率化を進める意識の醸成と環境づくり

《取組項目》

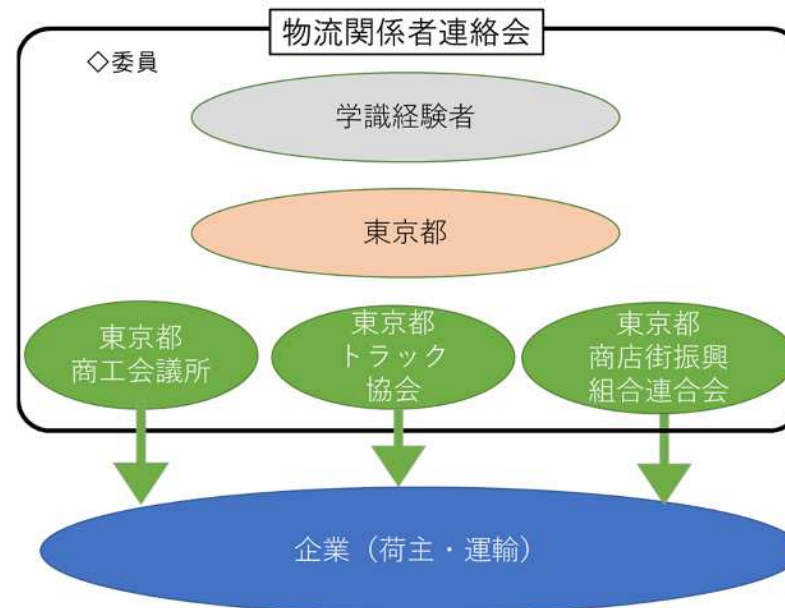
- TOKYO2020大会後も、継続中の取組や新規の取組事例についての情報を収集して共有していく。
- 物流効率化の促進に向けた効率的・効果的なPRの内容と方法を考えていく。
- 国の動きや物流DXの先進事例等の更なる効率化に繋がる情報を収集し共有していく。

連絡会の進め方（イメージ）

《連絡会の構成》

- ・ 「2020物流TDM実行協議会」での委員構成を一部リニューアルし、スリム化した連絡会として再編
- ・ 物流関係者と協力して物流の効率化を考えていくため、関係する団体とともに連絡会を運営
- ・ 関係団体の協力のもと、事業者への情報提供や情報収集等を実施

（連絡会構成のイメージ）



連絡会の進め方（イメージ）

令和4年度

1月27日 第1回連絡会議

- ・目的や進め方、取組内容の説明など

令和5年度

春～夏頃 第2回連絡会議

- ・収集した取組事例の報告、取組効果の確認など

秋～冬頃 第3回連絡会議

- ・収集取組事例の効果報告、優良事例抽出など

勉強会等の開催（予定）

令和6年度

連絡会議（時期未定）

- ・新たな取組項目を加えながら、第3回と同様に取組を実施（年2回）

勉強会等の開催（予定）

令和7年度

連絡会議（時期未定）

- ・一定程度、取組定着が図られたことを連絡会で確認出来た時点で、連絡会の取組継続有無を判断

取組事例の公表
（優良取組の表彰等）